

農家の気持ちを大切に

Mineyuki Kawazu
川津 峰之 さん
日田市、40歳。川津食品社長。流通経済大を卒業後、前津江町役場、椿ヶ鼻ハイランドパークの支配人を経て、ユズこしょう普及のため2004年に川津食品を設立した。

「住んで良かった」をお手伝い

Ekiko Sato
佐藤 栄希子 さん
日田市中津江村、39歳。日田市市民活動推進課主査。熊本大学大学院を卒業後、中津江村役場に入庁。周辺部の人口減少と地域活動の維持・継続の厳しさを感じている。

自信持って良さを訴える

Masayuki Motono
本野 雅幸 さん
日田市、31歳。日田けたの生産を行う本野はきもの工業の製造企画部長。通称「下駄(げた)王子」。伝統の日田けたに新たな風を吹き込んでいる。

日田を国際ふれあい都市に

Masahiro Takeuchi
武内 真央 さん
日田市、31歳。ホテル鳳早専務。アメリカのリンカーンメモリアル大学に在籍。会社勤務を経てホテルを離れ、日田に残る比佐津環(ひさつひめ)伝説に興味がある。

最終目標は顧客の創造

Tetsuro Miura
三浦 哲郎 さん
大分市、32歳。大分ベンチャーキャピタル企業支援部サブマネージャー。金融機関での法人金融を経験後、2009年入社。事業再生ファンドの運営に従事。

大変なのはどの仕事も同じ

Katsushi Sugahara
菅原 勝志 さん
日田市中心、44歳。菅原農園フキ工房代表。果農農大を卒業後、アメリカで農業研修を積み、大山町農協勤務を経て菅原農園フキ工房を設立。

古くからあるものを大事に

Masanobu Kuroki
黒木 昌伸 さん
日田市、35歳。小龍田(おんた)焼陶工。鹿児島大学を卒業後、家業である小龍田焼の陶工に。黒木家の7代目として、小龍田焼の技法を受け継いでいる。

若い人は理想を追求して

Tenaki Naka
那賀 輝彰 さん
大分市出身、36歳。J R九州本社旅行事業部営業創造課主査。法政大学を卒業後、J R九州へ入社。旅行事業本部でマーケティングを担当している。

自分のまちを明るく楽しみたい

Masayasu Ogasawara
小笠原 正泰 さん
長崎県出身。日田市在住、31歳。日田市観光課主事。大分大学大学院工学研究科福祉環境工学を修了した後、JTB九州勤務を経て2012年10月に入庁。

SNSを使って発信したい

Yoichi Matsukami
松上 洋一 さん
日田市上津江町、39歳。ワジ、キュウリ生産農家。昨年就農。地域の高齢化とともに農業従事者が減少。土地や技術の継承ができていないことに危機感を持つ。

やった分だけ返ってくる楽しさが魅力

Hiroshi Kamikawa
神川 裕芳 さん
日田市、42歳。ナシ生産農家。日田県青年部会、日田梨研究同好会副会長。神戸学院大学を卒業後、メーカー勤務を経て2010年に家業を継いだ。

ひたし
日田市

ハビカム

ミライデザイン会議

カム

客にへつらわず本物を磨く

大分合同新聞社が、「地域の人々とのつながりを大切に、長期的なビジョンを共有しながら一緒に地域の未来をデザインしたい」との思いで取り組んでいるプロジェクト・ミライデザイン会議「ハビカム」。その第8弾となる日田市編が7日、日田市中央公民館などで開催された。かつて天領として栄え、伝統文化や豊かな食文化がある日田市。その日田市の将来を担う若手リーダーが集い、同世代の大分合同新聞社員や外部アドバイザーと共に分科会と総括会議を通じて未来を創造する熱い議論を交わした。「農業(コーディネーター/乙咩啓太郎)」「観光(同/船山善弘)」「産創交流(同/木本崇)」の3テーマに分かれて話し合った分科会の模様を詳報する。総合アドバイザーは大分大学経済学部地域システム学科准教授の山浦陽一氏。総合コーディネーターは衛藤正法・大分合同新聞社整理部長。

主催:大分合同新聞社 共催:日田市 日田商工会議所 日田地区商工会 協賛:国立大学法人 大分大学 ㈱大分銀行 ㈱NTTドコモ九州大分支店 日本たばこ産業㈱熊本支店 老松酒造㈱

継続は力

Takako Takakura
高倉 貴子 さん
日田市、39歳。まちづくりエディター。築130年の古民家を活用し、まちをたてて交流機構「日田ラボ」を仲間と設立。市内の活性化に取り組む。

生産者の役に立ちたい

Kazuhisa Higuchi
樋口 和久 さん
日田市天瀬町、27歳。日田市農業振興課、県立広島大学大学院修了後、島根県山間地域研究センターで客員研究員として1年間勤務。水田農業のあり方が気になる。

「元祖」になって全世界に日田産品を売って

Hironori Tanaka
田中 弘法 さん
福岡県出身。大分市在住、31歳。イオン九州食品商品部農産グループ大分宮崎地区担当バイヤー。最近の日本の気候変化、人口の構成比の推移が気になっている。

共鳴する仲間増やしたい

Natsuko Kawazu
河津 奈津子 さん
日田市中心、41歳。コミュニティカフェ「まめろし」運営。郷土の食文化の伝承や、地域の良さを再発見、情報交換を行う空間を提供している。

伸び代は豊富にある

Yoshihiro Funayama
船山 善弘 さん
1997年入社。整理部課長、41歳。歴史、文化、景観…。きら星のように並ぶ観光資源。それを生かせる若い力がある。きつとできると感じました。

農業はいろんな可能性がある

Keitaro Otome
乙咩 啓太郎 さん
1999年入社。別府支社、竹葉支局、社会部を経て報道部副主事。37歳。農業は楽しいと語る若き農業者に、日田の「未来」を感じました。

交流の創出を考えよう

Takashi Kimoto
木本 崇 さん
1994年入社。東京支社編集部付(共同通信社出向)。政治部を経て報道部次長。41歳。歴史、地域資源、そして人材。日田の底力に感動しました。

総合アドバイザー



Yoichi Yamaura
山浦 陽一 さん
大分大学経済学部地域システム学科准教授。専門分野は農業経済学。農村の活性化に関するセミナーを主宰し、フィールドワークを中心に県内各地の地域づくりに関わっている。

総合コーディネーター



Seiho Eto
衛藤 正法 さん
1991年入社。整理部、地域報道部を経て整理部長。45歳。延暦もかすむハートの熱さに、日田人のパワーを感心した。

総括会議の様子は9月28日(土)の朝刊をご覧ください。

ウェブ <http://www.oita-press.co.jp> 3D <http://www.oita-press.co.jp/h-come/>

大分銀行は、豊かな自然と潤いのある生活をサポートします。

